

## 会議の要旨（議事録）

会議の名称	平成25年度第1回 鳥栖市文化財保護審議会		
開催日時	平成25年5月21日(火) 午後2時	開催場所	鳥栖市役所南別館2階会議室
出席者数	委員 6名 事務局 6名	傍聴人数	0人
議題	1. 市重要文化財について（答申） 2. 平成24年度事業報告 3. 平成25年度事業計画		
配布資料	平成25年度第1回 鳥栖市文化財保護審議会資料		
所管課	（課名）生涯学習課		（電話番号）85-3695

## 1. 教育長あいさつ

## 2. 新指定重要文化財答申

委員 指定物件の名称について。

事務局 対馬歴史民俗資料館、九州国立博物館、国立国会図書館、東大史料編纂所などに保管されている資料は、「対馬宗家関係資料」として国重要文化財に指定されており、それになった。

委員 保管について。

事務局 中性紙製の文書保存袋や箱に入れ、キャビネットに収納している。できるだけ資料の環境の変化がないように保管している。

委員 資料の燻蒸について。

事務局 燻蒸には多額の費用がかかる。虫干しや防虫剤で対応したい。

委員 新指定文化財の一般公開について。

事務局 文化財成果展など時機を見て公開したい。

以上で審議を終わり、対馬宗家田代領関係資料を市指定文化財に相当であるとして答申を受けた。

## 3. 議題

(1)平成24年度事業報告

○田代太田古墳について

委員 田代太田古墳の枝落しについて。

事務局 国史跡の枝落しで、樹木に影響を与えるものではなく、周辺に対する安全管理と環境整備を目的としたもので、軽微な現状変更として県と協議し届けを行なっている。

委員 同じ国史跡の勝尾城筑紫氏遺跡の整備についても、考慮してほしい。  
田代太田古墳の一般公開の影響は。

事務局 毎年 100 名前後の見学者があり、見学者が入る前室で 1~2℃上昇する。これが 2 週間程度をかけて元の状態に戻る。秋に行なうことで室温が元の状態に戻りやすい。

委員 石室内部、墳丘の観察に気を配ってほしい。

(2)平成25年度事業計画

○文化資源の検証・記録について

委員 事業の内容について。

事務局 鳥栖市誌編纂事業が終了し、その後の歴史的情報を収集し記録するもの。収集・記録した情報は、市誌編纂だけではなく他の部署などとも共有できるものにしたい。具体的な手法や体制などの検討から取り掛かる。

委員 民間との連携も必要になると思う。

事務局 それも考慮に入れ検討したい。

○その他

委員 国史跡指定を受けた勝尾城筑紫氏遺跡について、筑紫氏関係資料の集成について検討してほしい。

委員 遺跡の活用として観光が行われているが、保存が十分に行われて活用されることを認識してほしい。

(終了)